

News Release

2019年6月18日
国立大学法人 一橋大学
社会科学高等研究院
医療政策・経済研究センター (HIAS Health)

一橋大学では、「HIAS Health 医療経済短期集中コース」の受講申込みの受付を2019年6月20日(木)より、開始します。

「HIAS Health 医療経済短期集中コース」は、医療経済分析の手法を基礎から実践的に学ぶ、社会人の方を対象とした2週間(週末の4日間)の短期集中コースです。第2回目となる2019年度は、11月22日(金)から12月1日(日)にわたり開講いたします。

医療・介護の現場の専門職、医療・社会保障政策を立案する自治体職員、また民間企業の方を対象に、Evidence-based Policy Making (EBPM-科学的な根拠に基づく政策立案)の考え方と根拠の求め方を、演習を交えて基礎から学び、理解していただくことを目的として、一橋大学大学院経済学研究科および社会科学高等研究院 医療政策・経済研究センター (HIAS Health) が実施するものです。

コースの概要

期間 2019年11月23日(土)、24日(日)、30日(土)、12月1日(日)
※11月22日(金)15時から、希望者を対象に「コースで使われる統計学の基本」の講義を行います。
会場 一橋大学千代田キャンパス(東京都千代田区一ツ橋 学術総合センター)
受講料 15万円/人 ※受講料には、4日間の昼食代、テキスト代等を含みます。
受講申込 Web 申込みとなります。受付期間は、6月20日(木)から9月9日(月)までです。
<http://health-economics.hias.hit-u.ac.jp/program/>
定員は40名で、受講申込書に基づいて書類選考が行われます。

コースの特徴

データから日本の医療を考えるための手法を実践的に学びます。HIAS Health における最先端の研究成果に触れることができます。医療経済分析における実践的な統計の手法について、講義とエクセル等の統計ソフトを用いた演習を通じて学ぶことができます。講義や講演などの座学と、演習やグループワークを組み合わせたアクティブ・ラーニングが導入され、より深い理解が得られます。医療従事者、地方自治体職員、民間企業社員と、受講者は多様です。4日間のコースを通じて、経歴や立場の異なる受講者間の交流・関係構築が促進されます。

コース開設の背景

100歳時代の到来や医療の高度・高額化に伴い、日本の国民医療費は年間42兆円を超え、深刻な財政リスクとなっています。医療・介護への社会のニーズを満たしつつ、制度を「持続可能」にするには、限られた資源(予算)の効率的な活用を考えなければなりません。そのために、これまで臨床・疫学的なアプローチが主流であった医療・介護分野の政策決定に、EBPM (科学的な根拠に基づく政策立案)を取り入れることが求められています。医療・介護に関わる専門職の方々がEBPMの考え方を理解することが、これまでに増して重要となっています。

お問合せ先

国立大学法人 一橋大学
社会科学高等研究院
医療政策経済研究センター (HIAS Health)
担当者 森 淳子 junko.mori@r.hit-u.ac.jp
住所 〒186-8601 東京都国立市中2丁目1番地
電話 042-580-8677 Fax 042-580-8687
HP <http://health-economics.hias.hit-u.ac.jp/>

一橋大学 HIAS Health 社会連携プログラム 第2回医療経済短期集中コース（2019年）

時間割り

（2019年6月18日r版）

		コースで使われる統計学の基本 （希望者のみ） ※追加料金はありません。 ※ 表計算ソフトを用いた実技も行います。 講師：中村良太 一橋大学社会科学高等研究院 准教授/HIAS Health 研究員
11月 22日（金）	15:00－18:30	
11月 23日（土）	9:00－9:30	オリエンテーション
	9:30－12:00	テーマ1：医療保健政策の政策評価 講義と演習 講師：高久玲音 一橋大学大学院経済学研究科 准教授/HIAS Health 研究員
	12:00－13:30	昼食（受講生全員の自己紹介タイムを設ける）
	13:30－16:00	テーマ2：費用効果分析 講義と演習 講師：五十嵐中 横浜市立大学医学群 健康社会医学ユニット 准教授/HIAS Health 客員研究員
	16:00－16:10	休憩
	16:10－17:40	医療政策の時事報告：医療介護分野の未来投資戦略－現状と課題 講師：翁百合 株式会社日本総合研究所 理事長
	18:00－19:30	受講生の交流会
11月 24日（日）	9:30－12:00	テーマ3：医療機関の管理会計 講義と演習 講師：荒井耕 一橋大学大学院経営管理研究科 教授/HIAS Health 研究員
	12:00－13:30	昼食
	13:30－15:00	基調講演1：技術進歩の中で医療制度運営の全体最適を目指す社会科学 講師：松山幸弘 キヤノングローバル戦略研究所 研究主幹
	15:00－15:10	休憩
	15:10－15:40	実践現場からの報告 1：体験型健康医学教室でひと・まち・しごとを元気にする 講師：山下積徳 つみのり内科クリニック 院長/(株)True Balance 代表取締役
	15:40－15:50	休憩
	15:50－16:30	グループワーク 準備（受講生のみ）
11月 30日（土）	9:30－11:00	基調講演2：データから分かる社会参加と健康の関係 講師：小塩隆士 一橋大学経済研究所 教授/HIAS Health 研究員
	11:00－11:10	休憩
	11:10－11:40	実践現場からの報告 2：東京都地域医療構想について 講師：東京都福祉保健局
	11:40－13:00	ランチセミナー：グローバルヘルス－ユニバーサル・ヘルス・カバレッジに向けた保健財政 講師：戸邊誠 国際協力機構（JICA）人間開発部 国際協力専門員/HIAS Health 客員研究員
	13:00－14:50	テーマ4：生活習慣病対策の国際医療経済学－費用対効果と健康行動分析 講義 講師：中村良太 一橋大学社会科学高等研究院 准教授/HIAS Health 研究員
	14:50－15:00	休憩
	15:00－17:30	グループワーク
12月 1日（日）	9:30－11:30	グループワーク 報告（テーマ1、2）
	11:30－12:30	昼食
	12:30－13:30	グループワーク 報告（テーマ3）
	13:30－13:40	休憩
	13:40－13:50	記念撮影（全体写真）
	13:50－15:20	パネルディスカッション
	15:20－15:30	休憩
	15:30－16:00	認証式

受講申込方法等概要

期間	2019年11月22日（金）、23日（土）、24日（日）、30日（土）、12月1日（日）
会場	一橋大学千代田キャンパス（東京都千代田区一ツ橋2-1-2、学術総合センター2階 一橋講堂 中会議場）
定員	40名
受講料	15万円/人（受講料には、4日間の昼食代、テキスト代等を含みます。） ※ 地方自治体職員（病院勤務者を除く）および大学院生（社会人学生を除く）の方の受講料については、在職・在籍確認の上、5万円/人といたします。
受講申込期間	2019年6月20日（木）～9月9日（月）
受講申込方法	Web申込となります。下記のページから受講申込みフォームへお進みください。 http://health-economics.hias.hit-u.ac.jp/program/ 受講申込書に基づいて書類選考を行います。選考結果は9月24日（火）までに受講申込者全員にお知らせします。
受講料の支払	書類選考の合格者には、後日、請求書を発行いたします。2019年10月21日（月）までに入金をお願いいたします。期日までに入金が確認されない場合は、受講資格を取り消します。 主催者都合によりコースの開催を中止した場合を除き、受講料の返金はいたしません。予めご了承ください。
実施者	本短期集中コースは、一般社団法人一橋大学知識共創機構からの受託事業として、一橋大学大学院経済学研究科および社会科学高等研究院 医療政策・経済研究センター（HIAS Health）が実施するものです。

第1回医療経済短期集中コース

「医療経済短期集中コース」は2018年度に新規開講いたしました。第1回のコースは、2018年11月9日(金)、10日(土)、11日(日)、17日(土)、18日(日)の日程で行われました。医師・看護師を含む医療従事者、病院事務部門、地方自治体、製薬企業などから、40名の方が第一期生として受講されました。



第1回医療経済短期集中コース 受講生の声

受講者へのアンケートでは、回答者38名中、30名の方から「本コースを誰かに薦めたい」とご回答いただきました。以下、受講生アンケートのご意見から。

○データを実際に手元で操作しながら回帰分析をやってみることができてとても分かりやすかった。統計学は数式が複雑に見えてしまい、構えてしまうが、今回少しわかったような気がするので、身近なデータを使って仮説をたて、トライしてみたいと思った。まだ式や仮説の立て方、変数の扱い方で間違いそうだがトライしてみる。ありがとうございました。(医療機関)

○手持ちのデータのエビデンスレベルを統計手法で高められるということは、大変興味深く、実用性も高いと感じた。(自治体)

○日本のHTAの問題点を整理することができた。これからさらに知識を深めていきたい。(製薬)

○新しい分野を知ることができ、なぜジェネリック、SPDシステム、病床稼働率などが日々の現場で話題になるのかよく理解できた。(医療機関)

○全く知らない世界を学べた。病院会計、経営の重要性、DPCの有用性が分かった。(製薬)

○医療の質とは何かについて、改めて考えさせられる機会となった。予防が本当に医療費削減につながるのか、検証してみたくなった。(製薬)

○サポート的な雰囲気在学习の場を動機づけたと思う。自分の知りたいことの発問を専門の先生方にごのように伝えるかが課題であると改めて痛感した。満足度は高い。(医療機関)

一橋大学社会科学高等研究院

一橋大学では、日本および世界の喫緊の社会的な重要課題に対して、学際的かつ集中的に取り組む国際共同研究のハブ(拠点)として、平成26年に、学長直轄の研究組織「一橋大学社会科学高等研究院」を設置しました。英語名「Hitotsubashi Institute for Advanced Study」の頭文字からHIAS(ハイアスと発音します。)を略称としています。さらに、社会的な重要課題の一つである、医療・介護・社会保障を取り巻く問題の解決のために、質の高い社会科学的研究によって貢献することを目的に、平成28年2月にHIASのもとに「医療政策・経済研究センター(HIAS Health)」を設置して、研究を進めています。

以上

コースの概要 (2019年度)

- 期 間 2019年11月22日(金)、23日(土)、24日(日)、30日(土)
12月1日(日)
- 会 場 一橋大学 千代田キャンパス
(東京都千代田区2-1-2 学術総合センター2階 一橋講堂 中会議場)
- 定 員 40人
- 受講料 15万円/人
※受講料には、4日間の昼食代、テキスト代等を含みます。
※地方自治体職員(病院勤務者を除く)および大学院生(社会人学生を除く)の方の受講料については、在職・在籍確認の上、5万円/人といたします。
- 受講申込み 2019年6月受講申込み受付開始予定(WEB申し込み)
<http://health-economics.hias.hit-u.ac.jp/program/>
- 実施者 本短期集中コースは、一般社団法人一橋大学知識共創機構からの受託事業として、一橋大学大学院経済学研究科および社会科学高等研究院 医療政策・経済研究センター(HIAS Health)が実施するものです。



コースの特徴

EBPM(科学的な根拠に基づいた政策立案)

HIAS Healthにおける最先端の研究成果を取り入れ、社会科学の知見を医療の政策立案・実務の現場に反映させることを目指しています。

実務的な統計手法の習得

医療経済分析における統計の手法について、講義とエクセル等統計ソフトを用いた演習を通じて学びます。

座学とグループワークを合わせたアクティブ・ラーニング

講義のテーマの中から事前に受講生に希望調査をし、関心に応じて、5名程度のグループを編成し、グループワークを行います。

受講生間の交流

自治体・医療関係者等、バックグラウンドの異なる受講者間の交流・関係構築を促し、政策立案と現場の連携に繋がります。



一橋大学社会科学高等研究院
医療政策・経済研究センター(HIAS Health)
〒186-8601 東京都国立市中2-1
TEL 042-580-8677
URL <http://health-economics.hias.hit-u.ac.jp/>



社会連携プログラム

第2回

医療経済 短期集中コース



一橋大学
大学院経済学研究科
一橋大学社会科学高等研究院
医療政策・経済研究センター

医療経済短期集中コースについて

医療・介護への社会のニーズを満たしつつ、制度を「持続可能」にするには、限られた資源(予算)の効率的な活用を考えなければなりません。そのため、政策決定にエビデンスとロジックに基づく社会科学の知見を加えていくことが求められています。すなわち、Evidence-based Policy Making (EBPM-科学的な根拠に基づく政策立案)が、医療・介護政策の分野でも必要とされているのです。

医療・介護に関わる専門職の方々がEBPMの考え方を理解することが、これまでに増して重要となる中、一橋大学では、社会人を対象とした高度職業人専門プログラム(リカレント教育プログラム)である「HIAS Health社会連携プログラム医療経済短期集中コース」を、2018年度より開講しました。

コースでは、データに基づいた医療・介護に関わる政策・経営の実態把握と分析や効率化に向けた手法等を、データ分析の初心者にも分かりやすく講義します。また、演習・グループワークなどのアクティブ・ラーニングを組み込み、内容への理解を深めるとともに、バックグラウンドの異なる受講者間の交流・関係構築の促進が図られます。

是非、医療・介護の現場で仕事をされている方、政策立案に携わる方、製薬企業、大学関係者など医療経済に関心のある方に、広く受講していただければと願っております。



佐藤 主光 Motohiro SATO

一橋大学社会科学高等研究院
医療政策・経済研究センター (HIAS Health)
センター長
一橋大学大学院経済学研究科 教授
一橋大学国際・公共政策大学院 教授

コースの内容 (例:2018年度の時間割りから)

■コースで使われる統計学の基本 講義と演習

[講師]中村 良太
一橋大学社会科学高等研究院 准教授/HIAS Health 研究員

■医療保健政策の政策評価 講義と演習

[講師]井深 陽子
慶應義塾大学経済学部 准教授/HIAS Health 客員研究員

■費用効果分析 講義と演習

[講師]五十嵐 中
東京大学大学院薬学系研究科 特任准教授/HIAS Health 客員研究員

■医療機関の管理会計 講義と演習

[講師]荒井 耕
一橋大学大学院経営管理研究科 教授/HIAS Health 研究員

■医療の質の評価と支払制度 講義と演習

[講師]井伊 雅子
一橋大学大学院経済学研究科 教授/HIAS Health 研究員

■日本の医療経済学の歴史と発展 講演

[講師]西村 周三 医療経済研究機構 所長/HIAS Health 客員研究員

■保健医療支出(Health expenditure)推計の現状と課題 講演

[講師]西沢 和彦 株式会社日本総合研究所 主席研究員

■医療政策の時事報告『社会保障をめぐる現状と医療政策が目指す方向性』講演

[講師]土肥 克己 内閣官房社会保障改革担当室 参事官

■グループワーク

■グループワーク報告会



受講生の声



データを実際に手で操作しながら回帰分析をやってみることができてとても分かりやすかった。統計学は数式が複雑に見えてしまい、構えてしまうが、今回少しわかったような気がする。身近なデータを使って仮説をたて、トライしてみたいと思った。まだ式や仮説の立て方、変数の扱い方で間違いそうだがトライしてみる。ありがとうございました。(医療機関)

日本のHTAの問題点を整理することができた。これからさらに知識を深めていきたい。(製薬)

全く知らない世界を学べた。病院会計、経営の重要性、DPCの有用性が分かった。(製薬)

サポート的な雰囲気学びの場を動機づけたと思う。自分の知りたいことの発問を専門の先生方にどのように伝えるかが課題であると改めて痛感した。満足度は高い。(医療機関)



新しい分野を知ることができ、なぜジェネリック、SPDシステム、病床稼働率などが日々の現場で話題になるのかよく理解できた。(医療機関)

手持ちのデータのエビデンスレベルを統計手法で高められるということは、大変興味深く、実用性も高いと感じた。(自治体)

医療の質とは何かについて、改めて考えさせられる機会となった。予防が本当に医療費削減につながるのか、検証してみたい。(製薬)

